

令和6年度 第1回加西市タウンミーティング（主な意見・提案・回答等）

No	質問内容	回答	担当部局
＜新病院建設＞			
1	新病院建設について、どのような病院ができるのか、単なる移設か、紹介状等、今の状況をどれだけ改善して新築されるのか教えてください。	新病院は機能的には回復期病床を主とし、必要な地域医療を確保します。すべての救急医療を北播磨総合医療センターで対応することは不可能なので身近な病院として新病院が必要です。県の医療計画では136床になるため、大規模な病院と機能を分担することになります。	病院事務局
2	加西病院は、市民の救急医療機関として非常に助かっています。ただ、内科・外科・整形外科以外、総合病院の診療科としては寂しい状況です。また、産科がなく、小児科も体制としては不十分であり、人口増に向けて産科の復活、小児科の充実を希望します。	産科があることが市活性化の一丁目一番地であることを掲げてきました。しかしながら、産科医の確保は極めて難しい状況です。そこに今年度から「医師の働き方改革」も加わり、県や派遣元の神戸大学病院は、医師の労働時間の基準を上回っている北播磨総合医療センター等の基幹病院に医師の派遣を集中させる考えです。そうすると医師の確保は一層厳しさを増します。 現在、市は加西病院の医師確保のため、奨学金制度を導入、令和6年度10名の応募があり、将来の医師確保への可能性はあると考えています。また、新病院を広い平地につくることとしたのは、開業医を誘致できればという考えからです。産科を含めた不足している診療科の開業医誘致に向け、困難ではあってもまずは手を挙げないことには始まりません。今後も医師確保に向けあらゆる努力をまいります。	政策部 病院事務局
3	これからの超高齢社会を見据えた医療の充実をお願いしたいです。	新病院検討委員会には、神戸大学病院、北播磨総合医療センター、加古川中央市民病院の各病院長、兵庫県加東健康福祉事務所長、加西市医師会等の地域医療の専門委員に参画いただき、提言を受けながらこれからの時代に沿った病院づくりを進めているところです。	病院事務局
4	新病院建設以降の、現在の病院の再利用について、どのように考えていますか。	新病院建設と並行して、利活用を検討してまいります。	病院事務局 建設部

＜学校再編・スクールバス＞			
5	小中学校の再編について中学校2校、小学校4校になる予定と聞いていますが、10～15年後に児童・生徒数が減少した場合、どのような対応をされますか。	加西市の少子化は急速に進行しているが、現中学校区に1つの小学校を残していきたいと考えており、こどもの数を維持する前提で学校再編の案を作成しています。また、1学年2クラスは最低限維持していきたいと考えています。	教育委員会
6	統合中学校の位置については、将来の小中一貫校を考慮しての案なのですか。	現時点で教育委員会としては、小学校を現在の中学校区に1つは残したいと考えています。しかしながら、少子化がさらに進展する場合には、小中一貫校の設置も検討していくことになります。	教育委員会
7	統合中学校の建設予定地について、周辺道路(県道玉野倉谷線、市道剣坂野条線)の交通量が多く、通学路の安全性の向上のため、対策が必要です。	通学路については、シミュレーションを行い、安全性の確認と対策を実施していきます。	教育委員会
8	スクールバスの試験運行というのは、どのように行われる予定でしょうか。子供を乗せずに運行するのでしょうか。	スクールバスの試験運行は、1学期の終わりから夏休みにかけての暑い時期に、熱中症対策として、実際に児童を乗せて行いたいと考えております。当初、スクールバスの運行は統合後としておりましたが、統合しないところも含め、どのような運行が望ましいか、全市的な委託調査を行い、その結果を元に直営か、委託か等を決めていきたいと思っております。統合は関係なく、全市的に進めていきたいという思いでおります。	教育委員会
9	スクールバス運行について、中学校はクラブ活動があります。土・日曜日でも運行していただけるのですか。	日曜日については中学校のクラブ活動は行っておりません。土曜日のスクールバス運行については開校準備委員会で検討いたします。	教育委員会
10	スクールバスの委託ですが、公共交通と併せて一般の方も利用できるようになりますか。	スクールバスの運行管理を委託するにあたり、2通りの方法があります。 ①白ナンバー車両を市が用意したうえで、乗務員の手配、運行管理のみを委託する方法 ②車両(緑ナンバー)や乗務員の手配、運行管理のすべてを委託し、特定の顧客の需要に応じて輸送する方法 ①であれば、交通会議で承認が得られれば一般の方の混乗も可能となりますが、どちらの方法が加西市にとって最良なのか今後検討を進めていきます。	政策部 教育委員会

＜庁舎附属棟＞			
11	庁舎付属棟新築工事実施設計について、実施設計費用に7,500万円は高額に感じます。また、建築に向けたスケジュールと庁舎整備のビジョンについて、教えてください。	<p>実施設計に係る予算額は7,500万円としていましたが、入札の結果、約5,800万円で設計を行うことになりました。</p> <p>6月広報にてアンケートを実施し、その意見を踏まえながら設計を進めていきます。最終的には、議会の審議を経て建築工事の着工となります。</p> <p>なお、建設予定の附属棟は、現在、分散している子育て関連の窓口を一体化し、市民サービスの向上・事務の効率化を図るために整備するものです。実施設計が終われば、すぐに工事に入る予定です。</p> <p>なお、建築工事費については、財政収支見通しを立てるうえで、高額な35億円としておりますが、できる限りコストの削減を行い、経済的な支出を行ってまいります。</p>	建設部
＜総合運動公園＞			
12	総合運動公園の場所、規模、スケジュールは決まっていますか。	<p>総合運動公園の場所・規模等については、これから構想を策定する中で検討していきます。</p> <p>計画策定にあたり、ワークショップを開催し、ご意見を伺うとともに、近隣市町の状況等も勘案した上で決定いたします。</p> <p>なお、市単独事業として総合運動公園を整備することは財政的に難しく、国からの補助を受けながら、整備していきたいと考えていますので、早くも5年以上はかかる見込みです。</p>	地域部
13	体育館やプール等、学校跡地の利用をしていかれると思いますが、そのような状況下で総合運動公園が本当に必要でしょうか。本当に活用されるのでしょうか。	<p>学校跡地における体育館は、災害時の利用、また地域の方のスポーツ活動に活用していただくために残す方向で検討しております。一方、総合運動公園の体育館は運動施設としての活用はもちろん、スポーツ観戦ができるなど、観光資源として活用できるよう、観客席を設け、大きな大会が開催できる体育館の建設を計画しております。</p> <p>加西市には、観客席のある体育館がございません。このような体育館の必要性は10数年前から非常に多くの方々から要望をいただいておりますので、それを実現しようと計画しております。観客席のある体育館の建設は、市にとって大きな魅力であり、進めていきたいと考えております。</p>	地域部

＜道路整備・生活道路整備補助金＞			
14	市道については、要望した道路の工事を実施いただいておりますが、県道については、舗装が痛んでおり、沿道の樹木が県道側にはみ出しています。加東土木事務所は現地確認をしてくれますが、対応が進んでいません。	加東土木事務所に要望してまいります。県道については、市土木課を窓口として県協議しますので、土木課にお伝えください。県会議員とも連携し、要望いたします。	建設部
15	道路網の整備について、釜坂トンネル実現に向けた進捗状況を教えてください。	県への要望は継続中であり、現時点では県の社会整備基盤プログラムの採択に向けて、引き続き、要望を行ってまいります。	建設部
16	生活道路整備補助金の予算500万円について多くの要望があった場合、増額は考えられていますか。	予算額を超過した場合は、補正予算等での対応を検討いたします。	建設部
17	生活道路整備補助金について、農道を生活道路として利用していますが、農道整備は補助対象になりますか。	農道整備は、多面的機能支払交付金を活用してください。それ以外の生活道路整備については、この補助金をご活用ください。	建設部
18	生活道路整備補助金は新規事業ですが、来年度以降も継続される予定ですか。	来年度以降も継続したいと考えております。	建設部
＜区域区分の見直し＞			
19	市街化調整区域の廃止について、今更なげ行うのですか。廃止によるデメリットを教えてください。	調整区域では、都市計画法の規制により自己所有地であっても自由に家を建てることはできません。このような規制を緩和するため、線引き廃止を計画しています。廃止した場合は、乱開発が行われないような規制や農地を守るための措置が必要となるため、十分に検討してまいります。	建設部
20	区域区分の変更は、市全域での見直しですか。県が地区計画の決定などを指導すると思われるのですが、その場合は地域への十分な説明を行ってください。	加西市は線引き都市計画区域と都市計画外区域で構成されていますが、都市計画区域内の市街化区域と市街化調整区域の線引きを廃止し、非線引き都市計画区域となるよう県と協議中です。県の指導に伴う新たな規制等については、各地域へ説明してまいります。	建設部

＜かさいライフナビ＞			
21	かさいライフナビの普及に向け、町でも登録のお願いを行っておりますが、内容が市公式LINEと同様のため、多くの方が登録されていません。1軒1軒個別に回るのも難しい中、町としてはどのように普及していけばよろしいですか。	かさいライフナビを使っていただくメリットとしては、シンプルな画面で簡単な利用方法を求める方や防災情報と自治会からの情報のみを受け取りたい方、LINEアプリのダウンロードを好まない方に適しております。今後のかさいライフナビの啓発方法としては、市が主催し自治会の公会堂等にてスマホの操作等が苦手な方を対象にかさいライフナビアプリの設定及び操作説明会を開催し、普及啓発を行います。次に、自治会のご協力をいただき、スマホサポーターの養成及び普及活動委託を行い、市主催の説明会に参加できなかった方や公会堂等に集まる事が困難な方等を対象に、アプリのダウンロードの設定を行っていただく取組を現在行っております。有事の際に、住民の皆さまへ必要な情報が届けられるよう、普及促進に努めますので、町役員様におかれましても、ご協力のほどよろしくお願いいたします。	政策部
22	かさいライフナビに安否確認の機能をつけてほしい。地震の時には安否確認が一番重要な情報である。	対応を検討していきます。	政策部
23	かさいライフナビについて、西在田地区ではエリアトークを使用して、地域のお葬式のお知らせをしています。かさいライフナビは、誰でも登録ができてしまうため、なりすましによって個人情報が容易に見られることとなります。そのため、ライフナビを通じて個人情報を流すことには非常に不安があり、どこの町も利用していません。登録時にパスワード設定を行うなど対策が必要ではないでしょうか。	かさいライフナビは、有事の際には防災無線、平時には地域の連絡網として使用していただくことを目的としています。一定の制限は可能だと思いますが、むやみに制限をかけてしまうことは逆に利用しづらくなると考えます。	政策部
24	かさいライフナビを活用して、4件ほど市の担当に報告・連絡をしました。ライフナビでの回答を希望したところ、丁寧に回答をいただけたところ、電話での回答をいただいたところもありましたが、一切回答が無いところもあります。市役所内においてライフナビの運用・活用・普及促進についてはどのようにお考えでしょうか。	本件について、詳細をお知らせください。至急確認いたします。防災無線は、平時には地域の回覧や連絡調整に利用するため、各地域でも普及を進めていただいているところです。市役所においても、これからという状況ですが、普及を進めていきたいと思っております。	政策部

＜次代へつなぐ伝統文化継承補助金＞			
25	「次代へつなぐ伝統文化継承補助金」の予算は500万円が総額でしょうか。	500万円が総額になります。要望等が多く、予算不足の場合は補正等にて対応することを検討いたします。	教育委員会
26	両万願寺町の鬼追い、田遊びが該当すると考えています。活動をしていくうえで今使用している舞台の老朽化が著しく、子供たちにも危険な状況。屋根の修繕も必要であり、補助上限額を引き上げるなど、幅を広げていただきたいです。	鬼追い、田遊びの無形文化財の保存のためにはご指摘のとおり舞台の修繕もセットで行う必要があると考えています。補助金額の上限を設けていますが、まずは担当の生涯学習課に相談していただきますようお願いします。	教育委員会
＜学校跡地利用＞			
27	学校跡地利用について。民間事業者から学校跡地をすべて工場用地で活用したいとの計画が出てきた場合、その通りになることも考えられますか。	地域とも協議のうえ、計画案を作成していきます。	建設部
28	学校の跡地利用について。加西市の人口4万3千人、今後も減少が予想されます。社会情勢からみれば住宅団地を整備したとしても果たして居住者があるのでしょうか。	これまでも市内に住宅団地を整備してきましたが、売れ残ったことはありません。人口が増えないことには地域の活性化は図れませんし、造成に向けてまずは土地の確保と地域の魅力づくりをセットで進めていきます。市外から加西市に通勤通学に来ている昼間の人口が1万1千人あり、職場の近くの居住地を希望されている方もいます。そういった方々に市内に住んでもらえることができればと考えます。	政策部
29	学校の跡地利用について。山崎断層が通っており、地震が起きた場合の被害は非常に大きいことが想定されます。市としては地震の際の避難所としては十分確保されているとの考えでしょうか。	まずは、家の耐震化を進めていただくこと、その支援を市で行っています。地区の学校体育館は避難所として大きな役割を果たすものであり、まずはそこまでの避難経路を住民に明示しておく必要もあると感じています。	政策部 建設部

＜その他＞			
30	人口増施策に積極的に取り組んでほしい。住宅用地をつくるだけでなく、県外・市外の人に魅力をPRしてほしい。	人口を増やすには、住宅地の確保・開発は必要です。また、教育の充実も重要なポイントとなります。中高連携・小中連携により教育力を充実させ、住みよいまちを目指します。また、スポーツ施設や道路の整備により、総合的に加西市の魅力を向上させます。	政策部
31	市営住宅について、居住者も減少しているので一定集約を行い、住宅団地を整備していただければと思います。	ご意見をいただき、ありがとうございます。人口増に向けて、あらゆる方策を検討してまいります。	建設部
32	飛行場跡地の開発が進み、soraかさいが完成しましたが、soraかさいを核とした将来的な計画はありますか。	現在、市道鶉野飛行場線を整備しております。この市道が開通した後、どれだけの人がこの市道を利用してsoraかさいへ来られるか、利用の状況を見ながら、新たな計画を検討してまいります。 関連して、鶉野飛行場の北側にスマートエコタウンという住宅団地の整備を計画しております。住宅団地の整備ができますと一体的に鶉野飛行場、soraかさいとも連携できるのではないかと考えております。観光地としての活用、住宅確保のための新たな住宅団地の整備をしたいと考えております。	地域部 建設部 環境部
33	金木山からの倒木等があり危険であるので、整備をお願いします。（数年前から要望は伝えています。） 遊具のブランコの周囲が衝突事故の危険性もあり、柵等の安全対策をお願いします。	ご意見いただいた件につきまして、危険除去ということでできるだけ早く対応してまいります。樹木の伐採については要望も多いため、順次実施していきたいと考えています。	教育委員会
34	防犯灯の設置について、通学路を優先的に整備していただけませんか。幅員の狭い道路では歩道の整備は難しいので、安全確保は防犯灯が大切だと思っています。	自治会に対して、通学路を優先して設置要望してくださいとお願いしていますが、電柱がない等でなかなか設置が進んでいませんので、地域でも見守って頂きたい。 中学校の4km程度以上はスクールバスとなります。（それ以下の）暗いところについて、対応していかなければならないと考えています。地元から防犯灯設置の要望を上げてください。	政策部
35	民有林の買い取り制度を佐用町が実施しています。SDGsの取組一貫として、樹木を買い取ってバイオ燃料に活用するなどしていると聞きます。 ここでも高齢化などにより山林の世話ができない状況が見られるため、前向きに検討していただけないでしょうか。	農村地区であるため、まずは農地からと考えていますが、さまざまな方策について検討してまいります。	産業部